

平成25年11月27日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会

会長 沖田 光弘



要 望 書

田中市長におかれましては、南砺市の発展に昼夜を問わずご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

市長の市政運営の基本方針は、「市民が主役の市政」「常に市民目線にたった市政運営」「市民と行政の協働によるまちづくり」であり、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただいておりますことに、当連合会といたしましては、大変に心強く感じております。

さて、近年の異常気象や局地的な大雨により、市内でも避難勧告が発令されるなど市民生活に大きな影響を与えることが多くなっております。また、近年の少子高齢化の急激な進行と、それにともなう定住人口の減少は、住民自治組織の根幹を揺るがす事態となりつつあります。特に中山間地では高齢化率が50%を超える集落が急増しており、地域コミュニティの存続さえ危ぶまれる事態となっております。

このような状況を踏まえても、豊かで魅力ある地域づくりや安全安心な地域づくりは最重要課題であります。

総力集結

よって、次の点について平成26年度予算編成、並びに市政運営において格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



H25-105

1. 安全で安心なまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、生活基盤となる道路網の整備をはじめ防災に関する取組が大切になってきます。

生活基盤となる道路網の整備については、消防署所の再編やスマートインターチェンジの開設に伴うアクセス道路整備、通学路の安全対策など、様々な新たな課題への対応など、緊急を要する事態が生じてきており、今後の道路整備は、短期間に集中して行う必要性が高まってきています。

また、近年では一度の降雨の際の降雨量が多く、東海北陸自動車道や国道156号、国道304号、国道471号が雨量規制による通行止めがなされるなど、平、上平、利賀地域では孤立状態になり、市民が安心して生活することができなくなっております。

さらに、平成25年9月16日の豪雨の際には旅川流域に避難勧告が発令され、避難所への避難経路や防災資機材の確保について新たな課題が見られるなど、市の防災体制についても今一度見直しが必要であることがわかりました。

また、流下能力を向上させるための河川の浚渫や改修を進めていただくことで、より安全で安心な生活を送ることができるようになるものと考えております。

さらに、自主防災組織の運営についても、各町内会単位での自主防災活動を取りまとめる自治振興会単位での運営を行うことが有効であることから、自治振興会の単位での運営費補助が必要であると感じられます。

このことから下記の5点について積極的な対応を図られたい。

(1) 市で計画が策定された「安全・安心な道路整備5箇年計画」の実施にあたり、更なる整備予算の増額がなされることでもあり、従来から自治振興会等で要望している下記に関連する道路整備路線の着実な進捗を図られること。

①消防署再編に伴う、救急車到着時刻が従来より長くなる地域への道路・橋梁整備について、さらなる促進を図ること。

②通学路の中には、交通量に比して歩道幅員が狭い等、安全に通学できる環境にない箇所があることから、子どもが安心して通学することのできるよう通学路の重点的な整備を行うこと。

③地域内の道路には、急勾配・急屈折で幅員が狭小な危険箇所も多くあり、通行の支障となっていることから、そうした個所について重点的な整備を行うこと。

(2) 東海北陸自動車道や国道156号、国道304号、国道471号の雨量規制の見直しについて関係機関に働きかけ、孤立する地域のないよう対策を講ずること。

(3) 災害時には、安全な経路により避難できるよう、避難所の指定を行うとともに、避難が長期にわたる時には二次的避難所へ移動するなど、様々な災害に対応する避難体制となるよう見直しを行うこと。また、災害時に必要となる防災資機材の確保や所在の周知等をすすめること。

(4) 流下能力を高めるため、河川の堆積土砂について状況を確認の上除去するよう、管理者に働きかけること。

(5) 自治振興会単位での、自主防災組織の運営経費を助成すること。

2. 地域活性化の支援策について

世界遺産五箇山の合掌造り集落では、地域の茅を使った屋根の葺替を行うため、茅場造成や育成に大学や企業の力を取り入れ維持保全に努めています。元来の茅場は奥山にあるのがほとんどで、集落近隣にはわずかしかなく葺替えに必要となる量を確保できず、県外 of 材料を使用しているのが現状です。

合掌造りの屋根材となる小茅の増産のため、遊休地（スキー場のゲレンデ等）を利用した茅場の造成に対する、財政的支援、人的支援をいただきますようお願いいたします。また、このような取組をはじめとする各地域の活動を、南砺の良さとして広くPRいただきますようお願いいたします。

3. 若者定住対策について

元気で活気ある南砺市の実現には若者の定住が促進され、結婚し子供が生まれることでの人口の増加が見込まれることが重要です。企業誘致の推進や婚活支援事業に取り組まれるなど、様々な施策の展開を実施のこととは存じますが、定住に必要な次の点も含めて、更なる積極的で抜本的な対策をお願いします。

(1) 積極的な企業誘致による雇用の場の確保

(2) 産婦人科医・助産師の確保による出産環境の整備

(3) 定住の促進には地域医療の充実が不可欠です。引き続き市立病院の医師の確保に努められたい。

4. 「エコビレッジ構想」の展開について

南砺市では平成25年度にエコビレッジ推進課を新たに設置し、地域における小さな循環が続く仕組みづくりに取り組まれています。特に桜が池エコビレッジ構想の実現に向け、日々準備を進められているものと思います。しかし、市民目線で見ると、エコビレッジの理念である小さな循環の考え方について、市民の方に十分浸透していないように感じられます。

桜が池エコビレッジ構想がわかりやすく目に見える形として、まずは小水力発電をはじめとするエネルギー対策についての取り組み、考え方が市民の皆さんに浸透するよう啓発されたい。